《簡易マニュアル NO.0》準備編

①メーターの確認

4主装置の電源の確認

メーターの場所を確認します。

空きブレーカやSOGのP1 P2端子などを利用します。

近くに電源の取れる場所があるか確認します。





②パルスの取り方を決める

⑤タッチパネルの場所の確認(一体型除く)

パルスセンサーの種類を決めます。

旧式のタイプはパルス変換器を使います。

常に人のいる場所の、画面を見やすいところ、(150~160cm)

ほどのところが好ましいです。







③主装置の設置場所の確認

⑥通信方法の確認(一体型除く)

主装置の設置場所を決めます。通常はメーターに近い

通信方法としてPLCアダプターかLANケーブルかを決めます。 PLCアダプターはノイズなどの影響を受けやすいです。







⑦警報の出し方を決める

タッチパネルのブザーか、オプションのパトライトかを決める。

工場のように広く、音の大きい場所はパトライトがわかりやすいです。



⑧パルス申請用紙の記入

工事が正式に決まれば、まずパルス申請用紙を記入します。

※すでにパルスセンサーがついている事業所はのぞく

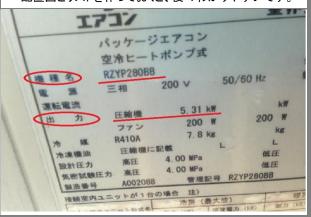


⑨工事日の決定

設置する事業所や電力会社の都合によって工事日を決定 します。

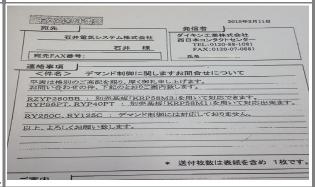
⑩《制御する場合》室外機の確認

室外機の配置や、メーカーと型番、圧縮出力などを確認します。 配置図とリストを作っておくと、後々わかりやすいです。



①《制御する場合》アダプターの確認

室外機を容量制御する場合、アダプターが必要な場合があります。 各メーカーに問い合わせると、教えてもらえます。



①《制御する場合》

リレー盤の取付位置や室外機などの配管ルートなどを確認 しておきます。

